

# 豆類技術情報 No. 3

平成28年8月3日

大豆生産者各位

J A大潟村営農支援課  
大潟村豆類生産組合

## 豆類生育状況と今後の管理について

本作大豆は6月の天候が不安定であったため、播種日及びほ場条件により生育差が大きくなっております。下葉の黄化や葉色の淡い圃場、草丈の短い圃場については尿素でN成分2kg/10aの追肥を実施してください。

6月中旬に播種したほ場では、現在開花始期に入ってきている圃場も見受けられますので、N成分3～4kg/10aを目安に追肥し、生育確保に努めて下さい。

今後、ウコンノメイガ等の害虫の発生が懸念されますので、食害が多い圃場では防除に努めてください。

### 1. 8月2日の生育状況

品 種	作 型	本 年			平 年 比		
		主茎長	葉令	分枝数	主茎長(%)	葉令	分枝数(%)
リュウホウ	本 作	43.4	7.6	2.7	102.3	-1.0	87.0
あきたみどり	本 作	48.9	8.7	3.6	93.1	-1.6	75.0
リュウホウ	小麦後作	31.5	6.2	1.2	123.8	+0.4	166.6

### 2. 雑草の除去

#### 1) イネ科雑草（ヒエ等）

- ◎ ナブ乳剤 200cc/10a 水 100 ℓを散布。（展着剤アプローチB Iを 100cc 加用）
- ◎ ポルトフロアブル 200cc～300cc/10a 水 100 ℓを散布。（展着剤不要）

#### 2) 広葉雑草：大豆バサグラン液剤 100cc～150cc/10a 水 100 ℓを散布。

茎葉除草剤散布後に、大型雑草(タデ類、イヌホオズキ、アカザ、シロザ)の残草が多い圃場では、手取り除草等の対策を行ってください。放置したまま収穫作業を行うと、汚損粒の原因となりますので注意してください。

### 3. 害虫防除（ウコンノメイガ、ハスモンヨトウ、マメシンクイガ対策）

①トレボン粉剤DL 10a 当たり4kgを散布。

#### ②トレボン乳剤

10a 当たり水量150～300Lに対し、薬液150～300mlを希釈して散布。

#### ③プレバソンフロアブル5

10a 当たり水量100～300Lに対し、薬液25～75mlを希釈して散布。